

ほ

ほ

え

み

題字は、デイサービス利用者様4名の合作です。

— 第89号 —



題字のはなし

今回はデイサービスをご利用している4名の方から一文字ずつ題字を書きいただきました。

字は人を表す、「書は心画なり」との言葉もありますが、字も人も、それぞれ違った個性があります。それぞれの個性が集まって、不思議とユーモアが感じられる題字になりました。

発行

社会福祉法人 **けやき**



特別養護老人ホーム
 ユニット型地域密着型特別養護老人ホーム
 短期入所生活介護施設
 デイサービスセンター
 居宅介護支援事業所
 ホームヘルプステーション
 シニアハウスけやき
 なの花荘 配食サービス

なの花荘

〒997-1301
 山形県東田川郡三川町大字横山字堤189番地2
 TEL 0235(66)4831 FAX 0235(66)4882
 ホームページ <https://www.nanohanaso.or.jp>
 発行責任者 本 多 一 明
 発行日 令和5年3月15日
 印刷 鶴岡印刷株式会社



ユニット型特養

お正月の歌を歌い、担当介護員からの年賀状をお渡しした後にのみくじを引いて頂きました。また、職員手作りの水羊羹や職員が生けた花は「いいねえ」「お正月だの～」と喜んで頂く事ができました。新年会後、年賀状や引いたおみくじを自室のコルクボードに貼って下さる入居者様もおり、私達職員もとても嬉しい一日となりました。



従来型特養

今年の干支である兎年の男・年女の方は八名おられ、お一人お一人の氏名が紹介されると、少し緊張した面持ちだった入居者様も「おめでとうございませす」と言葉と拍手を受けて、嬉しそうな笑顔になったり「ありがとうございませす」と応えて下さる方もいらっしゃいました。午後のお茶の時間には、甘酒と水羊羹を食べて頂きました。約三カ月ぶりに入居者様全員が食堂に集まり、とても和やかな雰囲気です、明るい新年のスタートとなりました。



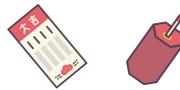
デイサービス

デイサービスは一月四日から新年の営業を開始しました。年末年始の休み明け「今年もよろしくの」と皆様休まず来所され、職員一同笑顔いっぱいでお迎えさせて頂きました。新年会ではお正月ならではの遊び（カルタ取り、福笑い、書初め）を楽しみ、兎をかたどった絵馬に思い思いの願いを書いていただきました。そして、会も終盤に差しかかる頃に職員手製の大きな獅子舞が登場！今年一年の皆様の健康とご多幸を祈願させて頂きました。



ショートステイ

職員手作りのなの花神社にお参りをしたり、おみくじを引いていただいたりしました。おみくじが大吉だと両手を挙げて「やったー！」と全身で喜んだり、大吉が出るまでおみくじを引き続ける利用者様の姿もありました。また、絵馬に願い事を書く際には、ご自身とご家族様の健康を祈る内容が多いなか「コロナにならないように」と書かれる方もいらっしゃいました。コロナ禍が収束し、利用者様が安心してショートステイをご利用いただけるよう、職員一同身の引き締まる思いがした正月行事となりました。



百寿のお祝い

令和五年一月六日に三川町長が来荘され、今年数え年で百歳を迎えられた二名の方に賀詞と花束、お祝いの贈呈がありました。新型コロナウイルス感染症予防対策により、ご家族様のお席は控えて頂きましたが、事前にメッセージを頂戴して、お祝いに添えさせて頂きました。



小林かつみ様のご家族様より

輝かしく尊い百寿を迎えられた義母かつみさんを今日まで支えてくれていた方々にまずもって感謝申し上げます。
義母は常に前向きで生きる気持ちを誰よりも強く持ち続けて歩んできたと思います。
農家の五人姉妹の長女で、家を守り、早朝から晩まで身を粉にして築きあげたと教えられました。

施設内では菜の花大学にいる認識で「先生方からは親切で良くしてもらって」と、いつも大きな声で皆さんのムードメーカー的存在である事をお聞きしています。
常に他人に気を遣い、「世の中、人のため」を心情とし、優しく大きな愛でいつも遅く歩んできた人生。これからも元氣いっぱいのかつみさんらしく過ごしてくれることが、何よりも家族の願いです。



従来型/ユニット型節分行事

今年の節分は、新型コロナウイルス感染症予防の為、各グループに分かれて行いました。事前に鬼の塗り絵を準備し「鬼は見た事ないから何色かわらかないわ」と職員と一緒に笑いながら、思い思いの色で塗って頂きました。

当日、節分の由来について話をしたところ「ほお、初めて聞いた」「昔は男の人が豆を撒いたものだけど、家に女しかいなかったから私がしました」等さまざまな話が聞かれました。

各グループとも工夫を凝らし、壁一面に鬼の面を貼ったり、職員が鬼に扮して豆まきをしました。幸運が舞い込む様にと願いながら「鬼は外！福は内！」と元気な声で豆を撒いていました。豆まきの後のお茶の時間は甘納豆やあんこを提供し「甘くておいしい」と皆さんに喜んで頂き、ここに笑顔がたくさん見られる節分となりました。



産後パパ育児

今回、私はなの花荘で初めてとなるパパ育児を取得しました。その経緯や感想について述べたいと思います。昨年の法改正で、テレビ等でも男性の育児休暇が話題になっていましたが、そんな中、職場から育児取得について声をかけていただき、妻と相談して、育児をいただくことに決めました。期間は十七日間で年末年始を家族三人でゆっくり過ごすことが出来ました。育児中は普段の家事はもちろん、子供をあやしたり、寝かしつけや、おむつ替え、沐浴、哺乳ビンの管理などやるのが沢山ありました。夜、二〜三時間おきに起きるのも大変でしたが、授乳後なかなかゲップが出せず、一日に何度も吐き戻しては着替えをさせていたことはとても大変で印象に残っています。最後にこれからパパ育児の取得を考えている方へ、私は取得することを強くお勧めします。まずは、産後の心身ともに回復しきっていない妻を自分が支える為です。さらに家族でゆっくり過ごした時間は今後の人生で何よりも大事な思い出になるからです。今回育児休暇を取らせていただいた職場の皆様には本当に感謝しています。ありがとうございました。



ほほえみ

施設内感染を経験して

社会福祉法人けやき常務理事・なの花荘施設長 本多 一明

令和四年度も残り半月となりました。日頃より『なの花荘』並びに『シニアハウスけやき』の運営につきましては、皆様のご理解ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、令和二年一月に国内で初めて感染者が確認された新型コロナウイルス感染症は、流行の波を繰り返し、昨年十月から始まった第八波もようやく低くなってきました。この三年余り感染防止対策を講じながら法人の運営する介護サービスの提供を行って参りましたが、昨年の十月下旬から十二月上旬にかけて施設内感染（クラスター（集団感染）含む）が発生し、十二月下旬までの約二か月間、庄内保健所、嘱託医師、三川町等関係機関からのご指導、ご協力をいただきながら収束へ向けての対応にあたりました。その間、感染された入居者様・利用者様は勿論ですが、感染されなかった入居者様・利用者様及びご家族様にも、大変なご迷惑とご心配をおかけいたしました。また、シヨートステイの入退所中止やデイサービスの一時休業により、利用者様とご家族様にも大変ご不便とご迷惑をお掛けいたしました。改めてお詫び申し上げますとともに収束に向けてのご指導、ご支援、ご協力をして下さいました方々に厚く御礼申し上げます。

施設内感染発生時、当施設で作成した業務継続計画（BCP）に依りながら感染拡大防止、感染者の療養、非感染者の生活継続等収束へ向けての対応を行いました。また、ゾーニングやカウンテクニク、廃棄物処理、換気等々試行錯誤の繰り返しでした。また、職員の感染者もあつたことから、同一部署内での勤務調整や他部署からの応援など、法人・施設内全体での協力体制をとりました。対応にあつた職員は大変苦労したと思いますが、『お互い様だから』という言葉も聞かれ大変有難く思いました。

この度の施設内感染の経験を、日頃の感染予防策の徹底・継続、カウンテクニク等の定期的な研修、実態に則した業務継続計画（BCP）及び感染症マニュアルの適宜改定等、併せて自然災害への対応を含めて、組織内のリスク管理能力並びに危機管理能力強化の糧として参りたいと思っております。

国の新型コロナウイルス感染症対策について、三月十三日からはマスク着用についての判断が個人に委ねられ、そして五月八日からは、感染症法上の分類が『第2類』相当から『第5類』へ引き下げられることが決定しておりますが、私たち高齢者介護施設従事者は勤務中のマスク着用が推奨される等、まだまだ気を緩められない日々が当面続いていくように感じております。引き続き感染防止対策を行いながら、ご利用いただく皆様に安心、安全な介護サービスを提供して参りますので今後とも『なの花荘』並びに『シニアハウスけやき』をよろしくお願い申し上げます。

クラスター発生時の対応及び今後の対策

陽性者確認後、保健所の指導を受けて施設内のゾーニング（清潔区域と汚染区域に分ける）、風向きによる換気の調整を行いました。また、個人防護衣の着用手順を各居室に貼って、確実に着脱できるようにするとともに換気と消毒の徹底、入居者様及び職員の健康観察など約二か月間対応しました。嘱託医との連携も図り、こまめな状態報告や点滴の実施など、重症化の予防に努めました。試行錯誤の毎日でした。

クラスター収束後は、全食堂のテーブルにアクリル板を設置し、食堂や各居室にはサーキュレーターを設置するなど、感染予防を強化しました。また、施設にウイルスを持ち込まないよう、毎日の検温に加えて、直接処遇職員は出勤日毎に、他の施設職員は週二回、出勤前に抗原検査を実施しました。

今後も感染予防の意識を高め、手指消毒の徹底やマスクの着用、三密の回避など、できる事をしっかりと行って参ります。

押切小学校へペットボトルキャップ寄託

三川ライオンズクラブ様からお預かりしたペットボトルキャップとなの花荘で集めたペットボトルキャップ538kgを押切小学校に寄託させて頂きました。今後、地域活動のお力になれるよう努めて参りたいと思います。



金品の寄贈者・

ボランティア御芳名

令和四年十一月〜令和五年二月（順不同）

本間祐司様、高橋すみ子様、五十嵐晶二様、百瀬千栄様、つくしの会様、理容ボランティア有志の皆様（佐藤千賀子様、坂まり子様、齋藤直人様、鈴木美恵様、豊田千鶴様）、株式会社産直あぐり様、福祉用品やまがた様、匿名様

大勢の皆様のご支援・ご協力に感謝いたします。

編集委員

- 浅野香澄
- 五十嵐栄子
- 伊藤千絵
- 齋藤知佳
- 安達由紀
- 石川久美子
- 小林千春